



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

(HP) <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> (e-mail) office.osaka@nsk.org

第407号 2009年6月14日発行

神は、この世をお造りになる時、悪い人間をお造りにならなかったはずで
す。良い人間、心の正しい正直な人間
をお造りになりました。神が人間をお
造りになった時は、この世には、決し
て、悪いことや、不幸が起こらずに、
すんだのにとつくづく思います。旧約
聖書の最初の創造の物語を読んでは
すと、神は色々なものをお造りになっ
た後、満足して、「良かった」とおっ

事をすすめていくようになります。最
初に神が人間をお造りになった時、自
分の「かたち」に似せて人間をお造り
になりました。「かたち」とは神の思い、
神と同じ気持ちになることで、その願
いと祈りを持って造られたわけです。
「神と同じ心と、考えとを人間がもつ
ことができなければ、人間はどうなる
のか？」その結果を神は人間に知って
欲しかったのです。



神様は、どんな気持ちで、
人間をお造りになったのでしょうか。

司祭 サムエル 坪井 克己

しゃっておられます。そんな中で、神
は、人間に一つの試みをお与えになり
ました。それは、「しても良いことと、
してはならないこと」の区別を教える
ためでもありました。悪の判断、物事
の善し悪しがわからない時、人間は一
体どうなるのかを、知ってほしかった
のです。神をないがしろにする時、人
間は自分中心になり、利己的になって、
物事を自分の思う通りになると考え、

残念ながら、神の思い通りに人間は
成長しなかったのです。神に導かれて
物事をするのでなく、してはならない
ことをし、当然すべきことのできない
人間になっていったわけです。神に似
なければならぬ人間が、似なくても
よい人間の思いと人間の肉欲に導かれ
て物事を考えて、行う人間になりまし
た。
聖パウロは、ガラテヤの信徒に言い

ました。

あなた方は、神の下にはいません。
肉の業の中で生きています。それは、
姦淫、わいせつ、好色、偶像礼拝、魔
術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己
心、……その他このたぐいのものです。
(ガラテヤ5:18以下)。

朝夕の礼拝、就寝前の祈り、及び、
聖餐式の時に、懺悔をいたしますが、
その個所に、思いと、言葉と、行いの
罪を懺悔するように祈禱書には記され
ています。思わなくてもよいのに思っ
たり、云わなくてもよいのに云ったり、
しなくてもよいのに、行なったりしま
すが、反対に、当然思わなければなら
ないのに、思っただけだったり、云わな
ければならないのに、云わなかったり、
当然しなければならぬのに何もして
いない毎日です。懺悔を通して、許し
の恵みを受けています。人間をお造り
になった神の目的は、「人間が、神の
下において、愛と喜び、平和と寛容、親
切と善意、誠実な生き方をするように」
ということでしょう。

喜びと感謝をもって、過したるもの
です

(つばい かすみ・退職司祭、聖パ
ウロ教会囑託)

私は大正15年(1926年)2月2日の被猷日に鳥取県の米子で生れました。母は雪がちらつく豊岡の円山川に白衣一枚で牧師と共に全身入水洗礼を受けたそうです。国鉄マンの父の転勤で3歳の時京都の四条の国鉄官舎にいました。四条大宮教会から幼稚園の先生に連れられて嵐電に乗って大秦の幼稚園に年少組から3年間通いました。アメリカ婦

代でした。昭和16年(1941年)の転勤では大阪の女学校へ転校せずに、アメリカから帰国されたばかりの神学校の教授の家に下宿させて頂きました。そこでバイブルクラスに通うようになりました。教授の家には祈りの場があり、家族との交わりの中からクリスチャンホームの真の姿を知るようになりました。昭和20年当時に国鉄を退職していた

ドを持ってお供したことは懐かしい思い出の一つでした。

米子の良善幼稚園時代、夏休みに入ると東京女子大で私立の幼稚園、小・中・高校の職員の研修会が一週間、毎年有りました。私はそれに出席させて頂き、米子から東京への往復の途中で大阪のアンデレ教会の久保先生宅に立ち寄って東京の神田教会

主と共にあゆむ 2



私の信仰経験

橘高富美子

りの吉田牧師は園児に英語で「主我を愛す」「さらさら星」等教えられ、不思議と今尚覚えていています。転勤でまた米子に戻った時には、我が家にイギリス人宣教師のハッチンソン先生を迎えて、日曜学校をして頂きました。3年毎ぐらいに父の転勤があり、その度に母は沢山の子供の転校の連続で大変だったと思います。単身赴任という言葉のない時

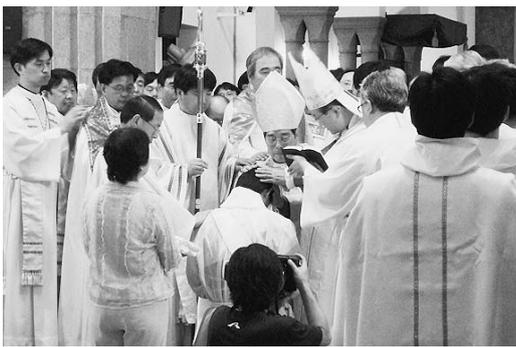
父は高槻にいましたが3月14日の大阪大空襲後、家族を米子市皆生の叔父の家へ疎開させました。終戦後、福山から山本早太先生が米子の教会に赴任して来られました。22年7月6日暑い日でした。私は山本早太先生から洗礼を受け、八代主教から按手を受けました。山本早太先生は山陰の農漁村への伝道に熱心で聖画やスライ

の事を話して頂きました。その久保登知雄先生のお世話で米子から大阪に嫁ぐ事に成りました。神様のお働きを不思議に思い返し、色々大病をした私が今こうして生かされている事を実感しております。神様はいつでも何処でも私と共にいて下さる事を感じつつ恵まれ過ぎていくのに感謝の乏しい毎日を懺悔する昨今です。(きったか ふみこ・大阪 聖アンデレ教会信徒)

ソウルにて 趙鍾必新司祭誕生 喜びに充ち溢れた司祭按手式

チョウジョンピル

マリヤ 井上 美津



韓国の国民が大好きな真つ赤なバラが咲く中、5月27日(水)大韓聖公会ソウル教区主教座聖堂に於いて司祭按手式が執り行われました。

大聖堂右手には1000人の聖職者が、左手には80人ほどのオモニ合唱団。1000人を超す会衆が見守る中、バイオルガンの荘厳な響きと共に、緊張の面持ちのフランシス・チョウ・ジョンピル執事を

を含む12人(女性の執事1人、シスター1人)が聖堂内に進み出て来られました。各教区から、そして日本からは常置委員長岩城聰司祭が推薦の言葉を述べられた後、志願者は床に身体を伏せ、「従う事を改めて誓われました。チョウ・ジョンピル執事はお二人の主教様の前に進み出てひざまずかれ、大阪教区主教・大西修師父の宣言、ソウル教区主教・キム・ウンサン師父、両主教様が頭に手を置かれ、大阪聖ヨハネ教会管理牧師内田望司祭はじめ臨席する司祭方も手を置かれました。教会代表の手渡すチャジブルの正装に整えられ、新しい司祭の誕生でした。全員の按手が終わり、テジョン教区主教ウォン・ヒーヨン師父のお説教、新司祭による分餐と、(次頁最下段につづく)



第3回

「聖霊降臨日 前夕の礼拝」が開催

ペンテコステ・ヴィジル

超教派の150人が参集

クリスマス、イースターと

並ぶ教会の3大祝日のひとつ、聖霊降臨日の前夕の礼拝「ペンテコステ・ヴィジル」が5月30日(土)午後5時から、カトリック大阪カテドラル「聖マリア大聖堂」で開かれ、カトリック、日本基督教団、聖公会の教派を超えた約150人の信徒が集って、夕

べの祈りの恵みに満ちたひとときを持つことができました。超教派のペンテコステ・ヴィジルも今年で3回目。この日の礼拝では、聖公会大阪教区の大西修主教が司式、カトリック大阪大司教区・松浦悟郎司教が福音書を朗読、日本基督教団からは井上隆晶牧師が代表として列席された。説

教は聖公会の福田光宏司祭(写真)が受け持たれ、以下のように話された。

「主イエスが十字架上で息を引き取られ、弟子たちが失意のどん底にあるとき、主イエスがお復活になり、何回となくお姿をお見せになられたあと、40日目に天に昇られた。それでも弟子たちは不安と恐怖に落ち込み、聖霊降臨まで49日もの必死の祈りが続いたのだった。『大齋節を失う者

はイエスターを失う』という言葉があるが、『復活節を失う者はペンテコステを失う』という言葉が聞こえるような気持ちがある」

説教のあと、会衆は数人ずつがグループになって「分かち合い」の時を持ち、互いに自己を紹介し合い、説教についてそれぞれの感じたこと、思ったことなどを、約10分間、話し合った。

希望



3月には台湾聖公会教区会に出

席、姉妹教区関係締結継続の調印式を行い、4月は大韓聖公会プサン教区済州教会、そして5月末、大阪教区と関わりの深いソウル教区を訪問する機会に恵まれた。

ソウル教区大聖堂では超鍾必執事を含め12人の

司祭按手式が、百数十人の聖職と数百人の信徒の立ち会いのもとに行われた。聖霊に満ち溢れた素晴らしい按手式であった。創立7年目の済州教会はビルの3階を借り、老若男女約50人が礼拝を守り、また別のビルの1階では、市から認可された学童保育所「共に生きる森」の活動が週日、活発に行なわれていた。

台湾聖公会は15教会に聖職

20人、現在信徒が約10000人(内訳は20歳未満が26%、29~40歳が23%、40~59歳が35%、60歳以上が16%)、現在受聖餐者700人、主日礼拝出席者800人である。大阪教区に比べ、教会と信徒の数は少ないが、信徒の年齢層のバランスは良く、特に主日礼拝出席率が現在信徒の80%であることは驚きであった。当教区は現在信徒3300人、現在受聖餐者1900人、主日礼拝出席者は930人、主日礼拝出席率は現在信徒の30

とは言え、現実に教区内各教会巡回の折、子どもたちが教会の中で楽しそうに遊ぶ姿や、教区キッズフェスティバルで、リーダーたちと共に祈りの輪を作り、一つになって過ごす光景の中に、これからの教区の希望が詰まっているのを感じ、嬉しかった。時まさに聖霊降臨節である。(主教 サムエル 大西修)

(前頁よりつづく)

静かに美しく式が進んで行きました。

式後、大阪教区から参加した14人の紹介を頂きました。

次に新司祭方のご家族がそれぞれに紹介され、聖堂内は大きな拍手と喜びに充ち溢れていました。

外では花束を渡す人、写真を撮る人、お祝いの言葉を伝える人、と嬉しさの表現を一杯出されているお仲間に入ることが出来て本当に幸せでした。式には、大阪教区主教ご夫妻、岩城聰常置委員長、大阪聖ヨハネ教会代表として管理

牧師内田望司祭と信徒有志10人が臨席致しました。

私たちは聖ヨハネでの2年間の働きに感謝しつつ、今後司祭としての日本での働きの上、神様の豊かなお恵みとお慰めがありますように。チヨウ・ジョンピル司祭のこれからの長い働きが神様に見守られ、大きな愛に包まれますようにと心からのお祈りをお捧げ致しました。

(いのうえ みつ・大阪聖ヨハネ教会信徒)

台湾聖公会 教役者修養会にて

司祭 ヤコブ 松平 功

5月12日(月)～14日(木)まで、台湾の高雄において台湾聖公会の教役者修養会が行われ、賴榮信主教からのお招きにより大阪教区から参加させていただいた。台湾教区の教役者22人(定年退職者6人含む)と教役者婦人4人が参加し、アットホームで和やかな集いであった。

講師として、香港聖公会大主教、鄭廣傑 師父(退職)が迎えられ、「忠実な僕になるには」という主題で4つのセッションにわたって、大胆な講演メッセージを語られた。各セッションのサブタイトルは「牧師の特性」、「牧師の品格」、「牧師の活動」、「牧師にとって必要不可欠なもの」で、



左から、松平司祭、鄭大主教、賴主教、主教夫人

一見すると非常に基本的なものに感じるが、牧会経験45年の鄭廣傑大主教のお話によって、とても内容の豊かな意味深い教えが各教役者の心に届いたと思える。また、各セッション後、小グループに分かれて討論会を開き、その討論結果の内容を各グループが報告し

合った。さらに、大主教のセッションだけではなく、台湾聖公会信徒の医師や大型船舶船

長などの経験談を聞くための講演会を設けるなど、多彩な研修内容となった。修養会は朝7時の聖餐式に

始まり、食事の時間以外に午

前と午後20分間の休憩時間があるだけで、夜9時までびっしりという過密なスケジュールで、このような教役者のための修養会を台湾聖公会では毎年2回行っているという。

この教役者修養会の参加を通して、台湾聖公会教役者の

台湾聖公会の歴史

はずっと以前から台湾には聖公会が存在したが、当時の聖公会は台湾の

【記者註】3月に宣教協働関係(姉妹教区関係)更新のため台湾教区教会を訪問した大阪教区代表(团长・大西主教)は、台湾教区との具体的な交流を深めるため、互いの教区報に原稿を寄稿し合うことを決めた。台湾の教区報には岩城司祭が第一報を書き、台湾で働いているCMSのキャサリン・リー宣教師が大阪教区報に次のような一文を寄稿して下さった。

人々の教会というよりは、日本人のための教会であった。台湾は1895年から1945年まで50年間日本の支配下にあり、その日本植民地時代に、日本聖公会が教会堂を保有し、日本人の住民のための礼拝を行っていた。1945年に日本が台湾を離れてから、聖公会の教会堂のほとんどは国民党政府に接收され、他教派に引き渡された。

台湾聖公会は1954年に創立されたが、当初は米軍人向けに礼拝をするためであった、ハワイ教区主教の管轄下に置かれていた。台湾聖公会

牧会に対する真剣な姿勢と熱意を肌で感じさせていた。ただけではなく、自らの牧師としての在り方についても様々な意味で学ばせていただき、濃厚で有意義な霊的修養をさせていただいた。

(まつだいら いさお・石橋 聖トマス教会牧師)

はまた、もともと中華聖公会に属していた人々の牧会の責任も負った。日本聖公会が保有していた教会堂の返還を求めた訴訟を起こすべきだとする意見もあったが、謙譲と和解のために、ハリー・S・ケネディ主教は他教派に引き渡されたそれらの教会堂の返還を求めず、新たに土地を購入して教会堂を建築することを決定した。興味深いことに、最近、賴主教は台北の中山長老教会(以前、日本の聖公会の聖堂であった)に招かれ、2009年8月31日に説教をすることになった。その日、聖公会の礼拝が再びこの教会で見られることになるかもしれないのだ。

(次頁3段目につづく)

第1回

オールターギルド研修会報告

奥田佳永子、村井 幸子

3月29日(日)午後、川口 明してくださいました。詳しく説明書も用意して下さり、メモを取りながら、あつというまのひとときでした。

礼拝の準備の段階から信徒がご奉仕されているのを知り、その他私たちの教会では守られていないことも多くありました。先ずそれぞれの名称を覚える事、手を洗い、お祈り



基本的な事から学び、あまり何も考えずにしていた事を少し反省しました。これからは今日のお話を思い出し喜びをもってご奉仕するということを守っていきたいと思います。ひとつひとつの事に心をこめてする大切さと「たえず祈りなさい」という聖句を改めて思い起こし、よい学びの時をもつことができました。神様に感謝し、講師をしてください

(前頁よりつづく)

第二次世界大戦後の時期の現実が容易ではなく、聖公会は病者の看護をするために診療所を開くことから宣教を始めた。1950年代と60年代には、台湾聖公会のメンバーの多くは、台湾に避難してきた大陸中国からの人々であった。聖職はすべて、米国聖公会からの宣教師であった。会衆の多くは、台湾語を話す地元の人々ではなく、北京語を話す公務員や軍人であった。1960年代にはエキユメニカル運動(教会一致運動)が始まり、台南神学院(長老派)が、聖公会を含む他教派にも門戸を開いた。授

業は台湾語で行われた(今も行われている)が、これは北京語を第一言語とする最初の聖公会神学生にとっては大きな課題であった。台湾で学んだ最初の聖公会司祭は、大陸中国出身の退職公務員だった。それ以降、台湾人の聖職が教育され、叙任され始めるようになった。最初の二代の台湾教区主教は米国聖公会によって任命され、次の3人の主教は香港から選ばれた。1965年に最初の台湾人司祭であるリチャードC・S・ウー師が叙任され、1988年には台湾から最初の台湾教区主教として簡啓聰(チェン・チー・ツォン)主教が選ばれた。台湾聖公会の歴史は、徐々

に文化内開花と統合を果たしてきた歴史であった。初期には、大陸中国からの人々および軍人との強いつながりをもっていたが、時が経つにつれ、次第に地元の台湾人を引きつけるようになり、異なる文化と人々が解け合って和解し合うようになって、完全に台湾の教会として定着してきた。現在では17の教会と1つの大学、7つの幼稚園、そして13人の現役教役者と3人の現役伝道師、および4人の神学生がいる。平均的な主日礼拝出席者は教区全体で1200人ほどである。全能の神に感謝します!

(司祭 ペテロ 岩城 聰)

つた田中姉、礼拝音楽委員会の皆様に御礼を申し上げます。(参加者68人)

(おくだ かえ こ、むらい さちこ・大阪 聖アンデレ教会信徒)

なるねんかい 第7回 成年会

パーベキューを 囲みながら!

9/23より一足お先に、 宣教150周年を祝いましょう!

2009年7月25日(土) 10:30~17:00 (受付10:00)

神戸聖ミカエル教会 垂水伝道所

〒654-0044 神戸市垂水区学が丘 5-1-1 ※神戸国際大学附属高校敷地内です

申し込みお問合せ先: 神戸聖ヨハネ教会 塚田直文 TEL (078) 914-2655 または (090) 8655-5950 e-mail; sakoda@fd5.so-net.ne.jp

ご案内の詳細については、各教会へ配布しています。



まいごのひつじはきみだ

キッズフェスティバル 2009

荻野 直人

乳児から高校生までの子どもたちを対象とした「キッズフェスティバル2009」のひつじはきみだ(主催:宣教部生涯学習委員会)が、4月29日に川口基督教会で開催され、約40人の子



どもたちと大人スタッフ10人が参加した。午前の部では、メッセージとしてスタッフたちによる劇『100匹の中の1匹』が披露された後、学年ごとに分かれてのグループワークを行った。

聖書に登場する「見失った羊」(ルカ15:1-7)のたとえ話では、羊飼いが迷子になった1匹の羊を見つかるまで捜し回る。私が参加した小学3・4年生のグループでは、「羊飼いて誰のことを示しているのか?」ということについて意見を出し合って理解を深



川口基督教会の礼拝堂が 大阪府の「指定文化財」に

大橋 襄

めた。劇の中では「いじわる羊」のカンタが迷子になってしまい、羊飼いのおかげで何とか助け出された。なぜ、他の羊に危害ばかり加えるカンタを羊飼いは捜しに来たのだろうか。この問いかけに対する答えを見つけることは、簡単ではないように思う。

午後の礼拝では、自分の

「罪」を記したカードを炎が上がるドラム缶の中に投げ入れた。イエスが私たちの罪を背負ってくれているということを実感できる体験であり、参加した子どもたちの心につまでも残るものになるだろう。

(おぎの なおと・聖贖主教会信徒)

川口基督教会(主教座聖堂)の礼拝堂が1月16日付けで「大阪府指定有形(建造物)文化財」に指定され、2月18日、大阪府立弥生文化博物館(和泉市)で行われた文化財指定書の交付式に大西修主教と内田望司祭が出席された。

同礼拝堂はさきに「国の登録文化財」として登録されていたが、今回の指定によって、それよりさらに2ランク格上げされたことになる。また大阪府の指定有形(建造物)文化財は、62件のうち神社や寺、また石塔などが大半だが、教

会の建物が指定されたのは同礼拝堂が初めて。

この礼拝堂はアメリカ人建築士ウイリアム・ウイilsonが設計したイギリス・ゴシック様式のレンガ建て。1920年(大正9年)に完成し、当時、川向こうにあった大阪府庁舎とともに、大阪の人たちの目を奪い、参観者が絶えなかったといわれている。

1995年の阪神・淡路大震災では大きな被害を受けたが、教区をはじめ内外の諸教会・信徒のほか、一般の市民の物心両面の励ましをも受けて復元・修復され、かつての姿を取り戻した。

これまでも一般の人々の訪問者が多く、カメラや絵筆の愛好家たちの姿も絶えないが、指定文化財指定後は教会への問い合わせも多くなっている。大阪の文明開化の発祥地「川口居留地」跡地で、唯一当時を証し続けるランドマークとして、この礼拝堂は今後ますます多くの人々に愛されようとしている。

(おおはし たかし・川口基督教会信徒)

チエジュ 濟州島スタディーツアーで得たもの

アグネス 大田美智子

「観光旅行」では行きたくないと思っていた場所の1つ、濟州島。こういう機会があったら是非、と思っていたので、4・3事件についても不勉強のまま参加しました。でも、

まずその現地に身を置いて空気にふれて、特に4・3事件についてのレクチャー、全行程を案内し解説して下さった金昌厚先生の熱い情熱のパワーと人間味あふれる姿に接することができて、それは知識よりも大きな得がたいものだったと思います。

大阪とも深いつながりのある濟州島での大きな事件を今までほとんど知らないままだったことはショックでした。

が、韓国本土ソウルなどで学習した、旧日本軍の負の歴史とはまた少し性格の違う事柄のような漠然とした思いがどこかありました。しかし旧日本軍の残した飛行場跡や地下要塞跡を見、また4・3事件もその底に旧日本軍の負の歴史が色濃く流れていることを実感し、ソウル以上に重い者を感じてしまいました。

私にとつて感慨深かったのは、それぞれ場所も歴史も違うのに、焼き払われた村の跡ではチェルノブイリの被災地

の廃村を、海軍基地に反対する予定地では原発に反対する山口県の祝島を、というように以前訪れた場所がダブって思い出されたことでした。

悲しい、重いスタディードけではありませんでした。2002年に設立された聖公会の濟州教会では元氣と刺激をもらいました。主日礼拝では韓国語、日本語、英語で賛美、通訳を介した大西主教の

教区オルガン研修会での学び

エステル 中藤 リカ

大阪教区宣教部の礼拝・音楽委員会主催の「オルガン講習会」が5月24日午後1時から大阪聖愛教会で行われ、各教会から約20人が参加しました。

委員長の高橋明子先生から奏楽の基礎（役割と心得）について学び、オルガンの奉仕を始めたばかりで間違えず楽譜通りに弾くのが目標である私にとつて、全てが勉強であり、「時間をかけて練習する事も恵みである」と言われた

時々は、とても嬉しく思いました。技術を高めるのは勿論ですが、礼拝の流れをよく知る、聖歌の曲想をつかみ、歌詞を読み込み、会衆をリードする、そのためには祈祷書をよく理解し、本を読み、知識を高める。段々難しくなってきた様ですが、出来る事から少しずつ取り組んでいきたいと思えます。

高橋先生のお話はとてもわかりやすく、オルガン奉仕に携わっておられない方にも役に立つお話だと思いました。

説教にも会衆から力強い「アーメン」の応答がありました。濟州教会が運営する地域児童センター（学童保育）では、生きた社会宣教の現場に接し、教会の姿を示されました。

また個人的には同室の方が実は初対面ではなかった！という感動的なうれしい出会いもありました。（おおた みちこ・芦屋聖マ ルコ教会信徒）

後半は内田司祭から選曲の仕方を教えて頂きました。今まで私は、とにかく聞いた事があり、簡単に弾ける曲ばかり選んでいました。後は、元気がいいとか、静かというだけで決めて、歌詞はほとんど

と言っているほど見ていませんでした。実際は、その日の聖書に基づいて、歌詞を考えながら選ぶ曲しなければなりません。何事も勉強だなと思いました。

実際に8月の終わり頃に読む（特定17）の主日にはどの聖歌が合うか、皆で考えました。私は、祈祷書と聖歌集のその箇所をバラバラめくるだけで「うーん」と言っただけで固まってしまいました。この教区報を読まれた方も一緒に考えてみませんか！ご奉仕くださった方に、そして沢山の学びや出会いに感謝します。（なかとう りか・大阪聖愛教会信徒）



場所： 紀泉わいわい村
日程： 8月6日(木)～8日(土)

小学校3年から中学校3年生までを対象にした子どもたちのキャンプです。詳細はチラシが各教会に配られますので、どしどしご応募ください。

昇天日礼拝と 教区婦人会総会のご報告

高田 恭子



5月21日(木) 10時30分
から、川口基督教会でイエス様
の昇天を記念する「昇天日礼
拝」が、内田司祭の司式・大
西主教の説教で行われました。
昇天日とは、復活されたイ
エス・キリストが40日の間、
弟子たちの前に現れた後、天
の父なる神様の御許に帰って
いかれたことを記念する日で
す。主イエスは地上での神様
の御計画を全うされて、天に

昇って全知全能の父なる神様
の右の座につかれ、神様と共
に私たちを見守っていてくだ
さいます。イエスの弟子たち
は復活・昇天から、聖霊の降
臨を経験しました。私たちも
新しく造り変えられ、心を育
てて導いてくださる主イエス
への信仰が成長していくこと
を願っています。また礼拝の
中で、この1年間に逝去され
た姉妹24人の方々を覚えて祈
りました。

婦人会員161人、
教役者9人、男子会員
4人の出席がありました。
当日の信施金15万
9189円は大阪教区
神学生後援会に送金さ
れます。またガザの子
供たちへの募金は3万
4292円でした。
午後「大阪教区婦人
会総会」が佐藤正子副
会長の議長によって開
かれ、2008年度会
計決算・2009年度

会計予算案が承認されました。
会則変更に関しては修正案が
出されて承認されました。そ
の他、会則変更に関する事
など、いろいろと意見が出ま
したが、次期役員にお委ねす
ることになりました。新しい
会長・副会長の任命式が行わ
れ、祝福の内に閉会しました。

第6回 成年会

「みんなでうたおう！ゴスペル」

真継 穰



1月13日に大阪聖パウロ教
会で成年会(なるねんかい)
が行なわれた。朝から天気も
よく、10時くらいからパウロ

昇天日礼拝から総会まで神
様が祝福して守り導いて下さ
ったことを感謝いたします。
また川口基督教会の皆様が行
き届いた御奉仕に御礼申し上
げます。

(たかだ きょうこ・大阪聖
パウロ教会信徒)

教会に参加者が続々と集まり
でした。今回は特に子どもの
数が多いように感じた。教会
は子どもを歓迎するところ
があるので、喜ばしいこと
である。パウロ教会の坂本真紀
さんがプログラムリーダー
である。テーマは「ゴスペル」。
普段歌っている聖歌とは一味
違う神様にむけての歌。最初
は簡単な歌から始め、徐々に
英語の歌も含めて本格的なゴ
スペル教室へと雰囲気が変わ
っていった。皆さん、さすが
普段から教会で聖歌を歌って
いるだけあって、そのへんは
お手のもの。和気あいあいと

した中にも真剣さがにじみ出
ていた。成年たちが歌ってい
るあいだ、子どもは自然と仲
良くなり大きい子どもたちが
小さい子どもたちの面倒を見
ながら、こちらもとても楽し
そうにしていた。

昼食は沖繩そば。だしの素
と麺は沖繩から取り寄せたも
の。野菜炒めと一緒に盛り付
けてみんなでおいしくいただ
いた。おにぎりやお菓子の差
し入れもあって、なかなか豪
華な昼食になった。

昼からはゴスペルはもちろ
ん、成年会恒例となりつつ
ある「アフタヌーンデート」。
3人1組となって互いに自己
紹介した後、感想などを言い
合った。遠くは高知から来て
くれた人もおり、成年会がじ
わりじわりと浸透しているな
と感じた時間でもあった。

閉会礼拝では山根司祭から
ゴスペル「アメイジング グ
レイス」に関するお話をし
てくださり、まさに1日ゴスペ
ル尽くしであった。この成年
会、これからも気楽に長く続
いて欲しい。
(まつく ゆたか・大阪聖パ
ウロ教会信徒)

石橋聖トマス教会創立50周年を迎えて

アンデレ 服部喜代司

5月5日で50周年を迎えたトマス教会ですが、それまでの22年間の伝道所時代より先達の宣教活動への働きと、神様の臨在と、確たる信仰の基、活躍された諸先輩がおられこれに感謝いたします。

50周年記念式典は大西主教司式のもと、松山龍二司祭と、トマス出身の竹内信義司祭補式による礼拝が行われた。礼拝には当教会歴代牧師、他教会信徒、教友、近隣の方々、ボーイスカウト関係者と26



4人の参加者を数え、素晴らしい礼拝・賛美の時を持つことが出来ましたことを感謝いたします。懐かしい顔ぶれが一同に会しての礼拝は古の想いが走馬灯のようにめぐってきます。礼拝後の祝会ではあちらこちらで昔の思い出を語る声が聞こえ、懐かしんでいる様子は心地よい想いがいたしました。

50周年を迎えるにあたり実行委員会が設置され、式典のための色々な協議が行われま

した。教会一丸になっての努力の結果、ご出席の皆様から本当の心に残る素晴

しい式典だったとのお言葉をいただきました教会員一同喜んでいきます。さすがトマスファミリーの底力、皆がやるべき役目を理解し合い進んで行く昔からの光景がそこにあったと感じます。

素晴しい記念式典が出来たことは本当に感謝ですが、残念なのは20年にわたりトマス教会の基礎を築いていただいた山本登司祭が病床にあり、その場におられないことでした。石橋荘園、待兼山と2度に渡る教会建設、近隣とのかわりを大切にされ地域に根付いた宣教、ボーイスカウトの創設等、私達にとつては霊的指導者でした。今尚、山本イズムが多くの信徒に引き継がれていると思います。

溶け込み、トマスファミリーの一員になった自分がいました。そんな良き時代に想いをはせながら、現在もトマスに居るのです。

石橋の地で動き出して72年の歳月を経て、今新たな試練の時を神はお与えになつていくように思います。「お前達はなにをしているのか、先達が歩んだ宣教の道を私と共に歩みなさい」と言われているように感じるのです。と言いますのも、20年前から主日礼拝の出席者は減少のみであり、伸び悩みの時期にきているからです。開拓期の活気ある教会学校、中高生会、青年会は今昔の話です。若者がいなくても集える場所としての教会、先達が築いたように、私たちも心新たに教会の働きが何であるかを考える時を、与えられていると感じます。

現在、トマス教会牧師の松平功司祭は外に向けた、開かれた教会としての働きをしておられ、忘れられていた山本時代の宣教のあり方を継承しているのがわかります。牧師を中心に信徒も心一つにして宣教に向けて歩んでいかなければと思ひます。

第2回 祭壇奉仕者 オールター・ギルド 研修会

日時：7月26日(日)午後2:00~4:30

場所：川口基督教会 参加無料

前回の基礎を踏まえながら、今度は聖餐式の準備と後片付けの方法を学びます。どなたでもご参加ください。

主催／大阪教区 宣教部 礼拝・音楽委員会

堺聖テモテ教会120周年記念礼拝・祝会

司祭 ペテロ 岩城 聡

5月31日、堺聖テモテ教会は120周年を迎えた。1889年、ジョン・マキム師によって堺講義所として始められた同教会は、まもなく堺聖テモテ教会と名を改め、堺の榎屋町に新会堂を建築し、大阪南部の伝道に大きな役割を果たした。戦火の中で礼拝堂が焼失したため、戦後は諏訪ノ森に移転し、1985年には現在のモダンな礼拝堂・会館が完成した。120周年記念礼拝は、そうした長い歴史において神が教会を建て、守



り、戦後の荒廃からも立ち上がらせてくださった恵みを思い起こし、感謝する礼拝であった。

当日、午後2時からの記念礼拝には、160人を超える人々が集まり、共にこの恵みに感謝し会った。地域の人々、遠方から駆けつけてくださった元教会員、教区内外の教会代表などが共に集ったことは、教会にとって新たな喜びであった。ケニヤ聖公会のワマイ

サさんも久しぶりに出席した。大西主教は説教の中で、さらに新たな

な歩みを始められることの大切さを説かれた。礼拝後の祝会では、懐かしい人々

と久しぶりに会い、賑やかな交わりの輪が広がった。120年の歴史をたどるスライドも映され、過去から未来へと繋がっていく教会の発展の姿に、みなが決意を新たにしました。祝会の締めくくりとして、教会員である山中優子さんによる『よかつた』の独唱があり、参会者一同感謝の気持ちに満たされた。

2階のホールでは、過去の現在の教会員が作り上げた作品の数々が展示され、見る人々の目を楽しませた。絵画を始め、書道、写真、手工芸など、力のこもった作品が多い。今は天国におられる人々の作品もあり、120年の歴史の中でこの教会の人々に注がれた神の「賜物」の豊かさ

が示されている。120周年を記念して、新しいサイン塔と案内板(写真)が完成し、教会の建物とマッチした美しい白い姿を現したことも特記したい。発光ダイオードを用いた新技術のサイン塔は、夜になると教会の文

字と十字架を美しく照らし出す。これまで、テモテ教会に欠けていた「よく目立つ案内板」もできあがった。このほか、120周年を記念して、5つの地区での家庭

世界の窓

○カナタベリー大主教がカトリック大司教の叙任式で挨拶

5月21日、英国にあるカトリック教会最大のウエストミンスター大聖堂で、カナタベリー大主教、ローワン・ウィリアムズ博士が、ヴェインセント・ニコルズ新ウエストミンスター大司教の叙任式での歓迎の挨拶を行った。19世紀後半、ローマ教皇庁とイギリス国教会の関係が改善され、1995年には女王エリザベス2世が大聖堂を公式訪問したが、両教会間の親睦の歴史はまだ浅い。ウィリアムズ大主教は、聖公会とカトリックが共に祈り合い、共働する重要性を願い、キリスト者の義務を果たす喜びを共有したいと語った。新大司教は英国にある教会同士が、

神に与えられた任務を共有し共働できるのは、神が与えられた特権であり喜びであると答えた。

(Anglican Communion News Service: Digest News May 21, 2009)

○北アメリカ聖公会が誕生

北アメリカ聖公会(以下ACNA)が6月1日に誕生した。ACNAは、性についての聖書解釈の違いによって、カナダ聖公会と米国聖公会から離脱した12の教会組織から構成され、カナダとアメリカの国境を越えて10万人の信徒を有する教団となる。しかし、聖公会の一管区として認可されるかどうかは未だ不明である。

(Anglican Journal May 25, 2009)
(司祭 ヤコブ 松平 功)

集会が行われ、秋にはチャペルコンサートなどが企画されている。

(いわき あきら・堺聖テモテ教会、聖ルシヤ教会牧師)

念して、5つの地区での家庭

桃山学院が創立125周年を迎える

司祭 ペテロ 竹林 徑一

桃山学院(中学・高校は大

阪市阿倍野区、大学・大学院は和泉市まなび野)では、今年学院創立125周年・大学開学50周年を迎えた。9月26日(土)にはローワン・ウィリアムス・カンタベリー大主教をお迎えして、中之島のリーガロイヤルホテルで記念式

典・祝賀会が挙行される。

それに先立って、3月下旬には記念事業の一環である2施設建設が完成し、竣工式が次々と行なわれた。まず大学(松浦道夫学長)では、和泉キャンパス入口に立つ「聖ヨハネ館」で3月19日(木)に開所・祝賀の会が盛大に行な

われた。1階は就職支援

のキャリアセンター、2階には国際交流の場である聖ヨハネホール、国際センター、ボランティア活動支援室、外国語教育センター、喫茶室を備え、2、3階には多くの教室・会議室があり、諸外国語を身につけるなど学生たちが成長するための充実した施設構成となっている。

一方、中学・高校(温井史郎校長)の昭和町キャンパスでは、昨年春の35年ぶりの中学校(男女共学)開校に続いて、3



月31日(火)に記念体育館(ダビデ・ジム)が完成、竣工した。地上2階、地下1階、延床面積46

00㎡で、2200人収容のメインアリーナとバスケットコート一面がとれるサブアリーナ、1周100mのランニングトラック、トレーニングルーム他を備えた、府下有数の体育館として、今後の活用と成果が期待されている。

そして、4月7日(火)には同館で初めての高校入学式(男女478人)が挙行された。続く8日(水)には、植松誠日本聖公会首座主教を説教者に迎えて、1943人の中高生と教職員が一堂に会して、桃山学院創立125周年記念礼拝を捧げた。またその第2部として、舞台部分に設置された緞帳(原画製作は、元美術科教諭で著名な版画家の清田雄司氏)のお披露目・柿落としが催された。

桃山学院の源は、1884年9月に大阪・川口外国人居留地12番、CMS宣教師C・F・ワレン大執事が司牧する聖三一教会の礼拝堂の一室に

設けられた、男子のための学校(三一小学校)である。1890年高等英学校を開校、1895年校名を桃山学院に改称し、1902年には大阪で最初の私立桃山中学校として認可を受けた。1912年東成郡田辺村(現、阿倍野区昭和町)に移転、戦争罹災を乗り越えて、新制中学・高校として再出発した。2001年8階建ての聖アンデレ館竣工以後は、標準コースに加え、国際・英数・S英数の男女共学の各コース、アスリートクラスの設定など刷新・変革が進められ、実を結びつつある。

また、2008年4月には、中学校専用の聖マルコ館が完成、6年制の中高一貫教育がスタートして、この春第2期生117人が入学した。

日本宣教百年記念大会が行なわれた1959年には、フイツシャー・カンタベリー大主教の出席をもって大学(経済学部)が開学した。1971年には堺市北野田の登美丘学舎に統合され、社会・経営・文学部と拡大・発展し、1995年4月現在の和泉市に全面移転した。校舎・施設の充

実とともに、2002年には法学部を開設、世界各地の有力大学と提携関係をむすびながら、2008年からは文学部を改組した国際教養学部国際教養学科が「世界市民」の育成に意欲的に取り組んで、各種のプログラムを打ち出している。

植松誠主教は記念礼拝の説教で、ワレンやアイヌ伝道のバチエラー、ハンセン病治療のハンナ・リデルなど、見も知らぬ人々に仕えるために来日し、宣教活動に生涯を賭けて生きたCMSの宣教師達の生きざまを紹介された。そして、若者が何を目指し、どう生きるのか、自分の生涯を賭けるものを持つとする生き方の姿勢を問いながら、確かな拠り所である創造主との出合いの意義を説かれた。X十字架(アンデレクロス)を校章とし、聖アンデレ学校(セント・アンドリュース・スクール)を標榜、「われにしたがえ、自由と愛」をスクールモットーとする桃山学院には、意義深い記念礼拝であった。(たけばやし けいいち・桃山学院中高チャプレン)

プールの学院創立130周年記念式典開かれる

執事 パウロ 井上 進次

5月30日(土)、プールの学院創立130周年記念式典が、本校勝山キャンパスにて行われました。

当日は、関係官庁、キリスト教学校教育同盟、大阪府中高連、海外姉妹校をはじめ教会関係の方々、関係企業の方々およびプールの学院の旧理事・評議員、教職員、PTA役員と同窓会役員など総勢約400名が出席、130年に亘るプールの学院の歴史を

覚えて、この歩みを導いて下さった神様に感謝をお捧げいたしました。

式は、10時から清心館にて記念感謝礼拝を行い、引き続き11時からメアリーズホールにて記念式典となり、中高オーケストラの演奏によって、滞りなく閉式となりました。

直前には、新型インフルエンザの感染防止のため、中高を一週間休校とするなど不測の事態も生じましたが、安

力されたプール主教の名から「普溜(プール)女学校」と校名を変更しました。

その後1917年(大正6年)に現在の勝山に移転しましたが、昭和9年には室戸台風による校舎倒壊、また昭和20年には戦禍激しい中勤労働員の生徒が犠牲となるなど、数々の苦難を経験いたしました。

戦後は、1950年(昭和25年)には短期大学が開校、1982年(昭和57年)に泉北ニュータウンに移転し、「泉ヶ丘キャンパス」となり、1996年(平成8年)には4年制大学(国際文化学部)が開校するなど、次世紀に向けて発展を遂げてきました。

そして一昨年、中高の「勝山キャンパス」が新しく完成した本校は、この創立130周年を契機とし、21世紀に輝く学院としてこの世に神様のご栄光を現す器となるよう励んでまいります。

(いのうえ しんじ・尼崎聖ステパノ教会牧師補、プールの学院中高チャプレン)



全のためパーティーは行わず、記念礼拝、記念式典のみ行いました。プールの学院は、1879年(明治12年)6月2日に、大阪川口居留地にてCMS宣教師ミス・オクスラドによって始められた私塾「永生学校」(後の永生女学校)がその源流です。1890年(明治23年)に新しく校舎を建設し、その建設に尽

教 区 の 動 き

常置委員会報告

3月10日(第5回定例)

1. 主教報告

① 2月10日、12日、沖縄教区会館で主教会が開催された。

席上、日本聖公会150周年記念式典(9月23日・祝日/東京)の前後に計画されるプログラム実行委員長に任命された。

② 3月1日付けで、教役者の人事異動を発令した。また4月からの主日礼拝担当表を作成し、司祭の配置を出来るだけ公平になるようにした。

③ 3月5日、9日、台湾聖公会を訪問し教区会(高雄)に参列した。そこで現在の宣教協働関係をさらに3年継続する締結書を取り交わした。

④ 4月1日付けで、現在の神学生4人を聖職候補生に認

可する。

⑤ 趙鍾必執事の司祭按手式が5月27日(水)、ソウルの大聖堂で行われる。教区代表として主教と常置委員長の2人が参列する。

2. 常置委員長報告

(台湾聖公会との主な対話内容) 容は次の通り)

① 互いの代祷表を更新。重要な計画を知らせたり、教区報に原稿を出し合いたい。

② 教区間の教会同士の交流・姉妹関係を進めたい。

③ 聖職者、青年の中長期交流を実現したい。

④ 各分野別、幼稚園・保育園の職員、学生(中国語・日本語学習)などの交流を実現したい。

3. 教務局長報告

① 4月の10日間、パレスチナから人類学者J・ハーパー博士とN・アティック司祭

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇7月8日(水) 11:00～

於 主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 松平 功 司祭

- 1日 司祭 ウォルター・J・エドモンズ(1889 英)
- 伝道師 野村 志津(1997)
- 5日 宣教師 エリザベス・メータ・ソフイー・ヒューボルト(1934 英)
- 12日 主教 パウロ 久保 潤 豊彦(2006)
- 14日 主教 アーサー・ウィリアム・プール(1885 英)
- 15日 宣教師 オクタビア・ジュリアス(1942 英)
- 20日 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス(1942 英)
- 司祭 ヨハネ 木川田 正毅(1990)
- 21日 司祭 堀江 議作(1928)
- 執事 永田 保治郎(1941)
- 23日 伝道師 中村 貞子(1953)
- 宣教師 エセル・アグネス・カーライル(1957 英)
- 24日 司祭 西田 弥吉(1945)
- 宣教師 ジェーン・アン・スタベリー(1963 英)
- 25日 司祭 サムエル 堀江 光児(1990)
- 29日 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ(1940 英)

◇8月12日(水) 11:00～

於 主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 井上進次 執事

- 5日 主教 エドワード・ピカステス(1897 英)
- 8日 主教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー(1959 米)
- 9日 宣教師 アグネス・S・ウィリアムス(1970 英)
- 10日 司祭 ヨハネ 桜井 猶次郎(1945)
- 10日 主教 ペテロ 藤本 寿作(1969)
- 11日 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ(1966 英)
- 18日 司祭 関 翔(1953)
- 24日 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム(1948 英)
- 30日 伝道師 ルツ 中村 光尾(1978)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加のうえお祈りください。

を東京教区が招聘する。その後、関西に引き宣教部が講演会を開催する。4月22日、午後5時30分より城南キリスト教会を会場に「ガザ虐殺と宣教」と題して実施する予定。

② 教区経常会計2月分の報告が、教区事務所米虫職員から説明され、了承した。

③ 3月23日～26日に「アジア太平洋聖公会気候変動会議」が香港で開かれ、管区の「正

4. 協議事項

Ⅰ. 第4回(2009.2.3)常置委員会議事録を承認した。
Ⅱ. 人事の件。4月からの各教会における教役者の配置を確認。
Ⅲ. 第101(臨時)教区会後の宣教懇談会について協議した。
Ⅳ. 聖金曜日の教区礼拝信施奉献先は浅草聖ヨハネ教会の給食活動のためとする。
Ⅴ. その他
① 三田・宝塚地域の宣教について、神戸教区と話し合うこととした。
② P・クーパー司祭の送別に關して、感謝状と記念品を贈呈する。

4月14日(第6回定例)

1. 主教報告

① 人事の件
*坪井克己司祭、3月31日付けで(杜福)聖ヨハネ学園チャブレンを解任した。
② 京都教区との合同常置委員会(4月3日)を開催することとした。
*成田邦雄司祭、7月以降も第1主日は大阪聖ヨハネ教会での主日勤務を命じた。
③ 日本聖公会宣教150周年記念式典出席のカタベリ一 大主教の日程は、東京での記念式(9月23日)出席後、長崎を訪問し、25日夕刻に大阪入りされる。翌日の桃山学院125周年記念式典にご出席後に帰国される。
④ 各教役者は、ご夫婦共に年一回は健康診断を受けていただきたい。

2. 教務局長報告

① 第101(臨時)教区会後懇談会の各地区別まとめを配布した。
② 4月26日(日)より、「英語礼拝」が大阪聖パウロ教会で始められることとなった。
③ 田宮紘執事の人事異動により、総務部広報委員会の委員長は、同執事に代わって松平功司祭が任命された。併せて、同委員会委員として、同じく成田邦雄司祭の人事異動、及び、任大彬司祭の休職継続により、代わって、奥康功司祭と鍋島守

一司祭が新たに任命された。
④住所・連絡先等の変更

*成田邦雄司祭／住所：〒654-0142 神戸市須磨区友が丘 1-131 電話：078-1795-3890

*パメラ・A・クーパー司祭
／住所：55 Tedder Road, Acomb YORK YO24 3JD UK. 電話：010-44-1904-780852

*田宮紘執事／住所：〒590-0452 泉南郡熊取町山の手台2-13-1 電話：072-453-5470

*芦屋聖マルコ教会／電話変更：0797-22-5504 (従来の番号は幼稚園専用)

⑤正義と平和担当者会議が5月17日管区で開催され、松平功司祭が出席する。

3. 協議事項

I. 第5回(2009.3.10)議事録を承認した。

II. 教役者養老厚生基金委員会より、次期教区会提案予定の同運営細目改正案につき説明がなされ了承した。

III. セクハラ防止委員会(長：齊藤司祭)は、準備委員を選出して第1回目の会合を4月15日に開催するとの報告を了承した。

IV. カンタベリー大主教歓迎について
*宣教懇談会後の取り組みについて、講演会を具体化するため、常置委員会及び代議員による企画委員を設け、計画を進めるものとした。

V. 信徒奉事者の推薦について
*5月1日大阪聖三一教会よりアブラハム大西温さんが推薦され、常置委員長より主教に推挙し14日付けで認可された。

VI. その他

①聖職候補生の夏期勤務について協議した。奥村聖職候補生は城南キリスト教会、古澤聖職候補生は川口基督教会、林聖職候補生は聖マルコ教会、千松聖職候補生は守口復活教会にそれぞれ勤務することとした。
②本年3月17日に財務委員会によりまとめられた「兼牧・管理牧師・協力聖職等の手当支給ガイドライン」を承認した。



祝受洗

守口復活教会

グレイス 小野めぐみ (4月12日)

バプテスマのヨハネ 原田 証 (4月12日)

ミリヤム 上坂 果音 (4月12日)

川口基督教会 ラファエル 辻内 興市 (5月17日)

聖贖主教会 マーガレット 金山 由依 (3月29日)

守口復活教会 グレイス 小野めぐみ (5月17日)

聖贖主教会 マーガレット 金山 由依 (3月29日)

魂の平安を祈ります

高槻聖マリヤ教会 マルコ 國松 幸夫 (4月19日・68歳)

尼崎聖ステパノ教会

ヤコブ 勝原 浩之 (3月3日・46歳)

岩崎かよ子 (3月12日・86歳)

川口基督教会

ラファエル 辻内 興市 (5月19日・75歳)

西宮聖ペテロ教会

ペテロ 森 洋一 (5月11日・46歳)

教会・施設の動き

川口基督教会

○第五回目のチャペルコンサートを6月27日(土)午後2時から行います。参加無料。

尼崎聖ステパノ教会

○6月7日(日)午前10時30分より服部緑地外国人墓地にて野外礼拝を行いました。

高槻聖マリヤ教会

○週日の集会…これまで地域への働き掛けとして月一回開催していた「料理講習会」、「手芸を楽しむ会」に加えて「唱歌と童話を楽しむ会」を4月より新たに開催。

石橋聖トマス教会

○毎月第3金曜日午後7時から、フライデーナイト映画会を開催しています。6月19日は「ハンサムスーツ」を7月17日は「容疑者Xの献身」を上映します。どちらもキリスト教の本質に迫るような良い映画です。入場無料。

大阪聖パウロ教会

○長年祈り求めてきましたエレベーターが与えられました。4月11日(土)に引き渡しを受け、感謝と祝福の祈りをささげて、12日(復活日)から使うことができます。感謝です。

編集後記

前号の編集作業において紙面スペースの都合上、止むなく割愛させていただいた「川口基督教会」「成年会」の2つの記事を今号に掲載させていただきました。掲載の遅れをご理解願うと共に、寄稿してくださった方々及び関係者の方々に深くお詫び申し上げます。